

令和8年度事業計画書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

当財団は、令和8年度から令和12年度の5年間に対する事業計画が認められ、引き続き川口総合文化センターの第5期指定管理者として指定を受けることとなった。

指定期間においては、引き続き開館以来培ってきた実績と経験を最大限活かし、優れた舞台芸術作品の提供や、市民の芸術文化活動の支援に関する取組みを行うこととし、かつ効率的な運営を図るため経営に関する改革にも着手する。

なお、令和8年度においては、約2年間の全館休館を経ての川口総合文化センターのリオープンとなることから、装いも新たとなったリアで、本市の芸術文化の拠点として、芸術文化を通じた豊かな市民生活の形成と地域社会の発展に寄与するため劇場・文化施設としてのミッションに取り組んでいく。

【当財団独自の事業展開】

川口市の芸術文化の創造と発信の拠点として、様々なアーティストや文化団体との協働により、芸術性の高い特色ある事業を行い、地域文化の振興を図る。

【文化創造・育成事業の実施】

平成2年7月の施設開館と併せ発足した川口少年少女ミュージカル団では、川口市の芸術文化の裾野を拡大することを目的として、小学校3年生から高校生までの34名が在籍し、週3回程度、演技、歌、ダンス、タップダンスのレッスンを継続して実施する。令和8年度は、練習の成果発表として山伸サステインホール（音楽ホール）での公演を予定している。

1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

(1) 自主企画公演等の実施

フカガワみらいホール（メインホール）、山伸サステインホール（音楽ホール）、KAWAIリラホール（催し広場）、イベントホールといった各施設の利用特性に沿った、芸術性の高い舞台芸術作品の提供や、市民ニーズの高い話題性のある人気アーティストによる公演等を提供する。

① フカガワみらいホール（メインホール） [11事業11公演]

グランドオープンとなる7月には、世界3大バレエ団の一つである英国ロイヤルバレエ団による「リーズの結婚（全2幕）」を5公演開催し、うち1公演を主催公演

として実施する。また、「リリアの日」については、医療系大学の学生とOBを中心に構成される交響楽団はやぶさの演奏によるオーケストラ・コンサートを実施する。

そのほか、人気ピアニスト角野隼斗をソリストに迎えた、北欧を代表するオーケストラである「ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団」公演。2022年に活動を再開したスタニスラフ・ブーニンによるピアノ・リサイタル。「リリア第九演奏会」、「小曽根真クリスマス・ジャズ・ライブ」等を実施する。

新春恒例となっている「ニューイヤーコンサート」は、休館中においては埼玉会館を会場とし継続して実施しており、令和8年度は待望のリリアに戻っての公演となる。

リリアメンバーズ会員優待企画として、人間国宝の野村万作、幅広く活躍する野村萬齋による狂言公演を実施する。

② 山伸サステインホール（音楽ホール） [20事業25公演]

優れた音響建築で開館以来、演奏家からも聴衆からも高い評価を得ている山伸サステインホール（音楽ホール）では、開館以来、世界のトップアーティストから新進気鋭の若手まで幅広いアーティストを起用し、クラシックを中心とした公演を実施しており、当音楽ホールでの公演でデビューを飾り、現在活躍中のアーティストも多く輩出している。

世界的なトップアーティストを鑑賞できる機会として、現在最高峰のフルーティストとしてわが国でも絶大な人気を誇るエマニュエル・パユと我が国を代表するハーピスト、吉野直子による「エマニュエル・パユ&吉野直子 デュオ・リサイタル」、演奏活動60年を超え今も活躍を続けるヴァイオリニスト前橋汀子と弦楽アンサンブルによる「前橋汀子の『四季』」公演を実施する。

また、濱田芳通&アントネッロによるクラシック音楽の金字塔であるJ.S.バッハの「マタイ受難曲」、日本を代表するバンドネオン奏者の小松亮太によるA.ピアソラ「ブエノスアイレスのマリア」公演は、ともに再演の声を多くいただき実施するほか、ピアニスト牛田智大と世界最古の歴史を持つゲヴァントハウス弦楽四重奏団による室内楽公演や、若き巨匠による「バンジャマン・アラール オルガン・リサイタル」を実施する。

「リリア音楽ホールリオープンセレブレーション」では、音楽ホールのリオープンを記念した「4人のギタリストによるガラ・コンサート」では福田進一、大萩康司、朴葵姫、徳永真一郎が出演、「4人のピアニストによるガラ・コンサート」では横山幸雄、久未航、小林海都、吉見友貴が出演する。

そのほか、ショパン国際ピアノコンクール2025で第2位入賞のケヴィン・チェンによるリサイタル、「辻彩奈&上野通明&小林愛実トリオ」、「宮谷理香ピアノ・リサイタル

ル]、埼玉ゆかりの演奏家による「今田篤&北垣彩 デュオ・リサイタル」など、多彩なラインナップを計画している。

一方、誰でも気軽に音楽に触れられる機会の提供や幅広い層の聴衆の確保を目的に、ミュージカル歌手として人気の田代万里生ほかによるコンサートや、デビュー10周年を迎えるクロマチックハーモニカ奏者山下伶によるコンサート、人気ウクレレ奏者名渡山遼によるコンサートや、三味線の本條秀慈郎が率いる邦楽アンサンブルJ-TRAD Ensemble MAHOROBAのコンサート、人気企画として定着している「ワンコイン・パイプオルガン・コンサート」など、音楽に接するための豊富な選択肢を用意することで、誰もが音楽を身近に感じることのできる環境を創出する。

③ KAWAIリラホール（催し広場） [2事業4公演]

収容人数150名といった空間でアーティストと聴衆との親密な距離感を生かした企画として好評を博している、ピアニスト宮谷理香の演奏とお話による「リリア・ピアノサロン」は全2回のコンサートシリーズとして実施。

「リリアの室内楽」は優れたアンサンブルピアニストであり、室内楽の名手である大須賀恵里が、構成・お話・演奏を担当し、新進気鋭から中堅まで共演者を迎え、全2回のシリーズコンサートとして引き続き実施する。

④ イベントホール [2事業2公演]

休館中にも市内会場にて2回実施し大好評であった「琵琶&講談 怖い話」は、夏の風物詩である「怪談」を琵琶の弾き語りと講談で楽しむ納涼企画として実施する。

その他、山伸サステインホールで行われる事業の関連イベントを予定している。

(2) 特別文化推進事業の実施

本市の芸術文化活動の拠点としての存在を広くアピールし、幅広い世代に芸術文化の体験機会を提供することを目的に、事前応募制による無料コンサート等の教育・啓発プログラムを4事業実施する。

フカガワみらいホールのお披露目公演として、川口市出身の指揮者、浮ヶ谷孝夫と東京21世紀管弦楽団による無料オーケストラ・コンサートを往復ハガキによる抽選（市民優先）にて実施する。

また、山伸サステインホールでは、リリアのオルガンコンサートを監修している井上圭子により、リオープンを記念したリサイタルを実施するほか、パイプオルガンの演奏を気軽に楽しんでもいただく企画として「クリスマス・オルガン・コンサート」を実施する。

なお、イベントホールでは「リリアの日」事業として、警察・消防等と連携し、休館前に実施し好評であった「のりものフェスタ」を実施する。

(3) 広報・宣伝等

① 財団情報誌「リリアプレス」の発行

財団の主催する公演や活動内容などを紹介する情報誌「リリアプレス」を隔月で25,000部発行し、行政機関・教育機関・自治会・企業等、約4,500箇所を送付し、事業の周知ならびにチケット販売促進や集客につなげる。

② 財団ホームページの活用

財団ホームページに催事情報を掲載し、財団主催・共催事業のチケットの予約をウェブ上で行えることで利用者の便宜を図る。また、随時SNSでの情報発信を行う。

③ アンケートの実施

財団主催事業について、公演時にアンケート用紙を配布するほか、財団ホームページのアンケート入力フォームにより、お客様からのご意見を財団の運営に生かすべく実施する。

④ その他

広報かわぐちへの情報掲載、チラシの配布、駅貼り等のポスターの掲示、音楽専門誌や新聞への広告宣伝の掲載等を行うなど積極的に情報発信し、事業をPRする。

(4) メンバーズ事業

財団主催・共催事業のチケットの優先予約や割引販売を行うことにより、顧客の定着化とチケットの販売促進を図る。新規入会については、施設の大規模改修工事に伴う全館休館により約2年間停止していたが、リオープンに向け令和8年1月より新規入会を再開した。

会員数：2,390人（令和7年11月末日）

(5) 共催事業の実施

市民等に対し、幅広く様々な公演鑑賞の機会を提供するため、催事を誘致し、芸術文化団体やプロモーター等が実施する公演に対し、その内容を検討のうえ施設利用料の一部を当財団が負担することにより共催事業を実施する。

【予定される共催事業】

辻井伸行プレミアム・リサイタル、特撰落語三人会 春風亭昇太・立川志らく・林家
たい平、アントニオ・ナハロー舞踊団、岡村孝子コンサート ほか

2 芸術文化活動の場の提供に関する事業

本市の芸術文化活動の拠点施設として、当文化センターの各施設の持つ機能を効果的に活用して施設貸与を実施する。各施設が十分活用されるよう事前の打ち合わせを舞台担当者も含めて行う等、利用者のサービス向上に努めるほか、施設の空き情報を当財団ホームページで提供する等利用率の向上に努める。

3 芸術文化に係る事業を推進するための附帯事業

利用者の便宜を図るため附帯事業を実施する。

(1) 駐車場および駐輪場の運営

(2) チケットセンターの設置

財団主催・共催事業のチケットの販売、ならびに他会場を含む受託チケットの販売を実施する。

(3) 財団主催・共催事業実施時のCD等の物品販売

(4) 自動販売機の設置

(5) イベント関係補助業務

施設利用者に対し、協力業者を通じてイベント機器の貸出、看板等の制作、パーティ提供業務、イベントスタッフの派遣等を行う。

4 助成・補助事業

(1) 文化活動支援事業（応募型）

施設を利用している市内の学校、ならびに文化団体またはアーティスト等の個人に対し、文化活動を行う会場の施設利用料の一部を助成することにより地域文化の振興を図る。

(2) 補助事業

市内のアマチュア音楽団体が加盟する川口市民音楽協会に対して、活動費の一部を助成することにより、地域の音楽文化の振興を図る。

5 公益比率の目標（公益認定の基準）

公益認定法第5条第8号にもとづき、令和8年度の公益比率を81.5%とし、公益財団法人としての役割を果たす。（別紙のとおり）

公益目的事業比率 81.5%

公益目的事業 文化振興事業 自主公演・共催事業・文化活動助成・ミュージカル団育成
 地域振興事業 会議室・ホール等の貸出のうち、公益性があると認められたもの

収益目的事業 施設貸与等事業 駐車場・会議室・ホール等の貸出
 利用促進事業 イベントサービス・自動販売機・公衆電話利用料

経営収支

	公益目的事業				収益目的事業				法人	総合計
	文化振興事業	地域振興事業	共通	小計	施設貸与等事業	利用促進事業	共通	小計		
経常収益	629,571,000	236,389,000	0	865,960,000	132,459,000	16,795,000	702,000	149,956,000	69,246,000	1,085,162,000
経常費用	646,731,000	262,613,000	0	909,344,000	121,923,000	5,013,000	702,000	127,638,000	78,966,000	1,115,948,000
経常増減額	△ 17,160,000	△ 26,224,000	0	△ 43,384,000	10,536,000	11,782,000	0	22,318,000	△ 9,720,000	△ 30,786,000
事業比率	58.0%	23.5%	0.0%	81.5%	10.9%	0.4%	0.1%	11.4%	7.1%	100.0%